

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
総合探究Ⅱ	普通科2年	1	学校独自に設定	入門編「一生使える探究のコツ」 日本探究部
科目の概要と目標	探究の見方・考え方を働かせ、社会の一員として将来自分が何をすべきかについて考え、物事の本質を問い直しながら、他者と共によりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。			
単元	学習内容	到達度目標		
リサーチクエスチョンを見出す	年間計画と希望調査	カテゴリの分類案を検討し、希望調査を実施する。		
	グループ開きとキーワード調査	希望調査をもとに作ったグループでモチベーションを共有する。		
	リサーチクエスチョンの作成とリサーチ計画の立案	リサーチクエスチョンを作成する。作成したリサーチクエスチョンをブラッシュアップするためにどのような調査ができるか調べる。		
	リサーチ計画の立案	前週の続きを行い、計画書の作成を進める。		
	リサーチ計画の発表	全体で発表し合い、グループのテーマを確定する。		
	リサーチ計画の実行に向けた準備	リサーチクエスチョンや計画を適宜修正して、実際の活動に移る準備を行う。		
調査を実施する	第1回目のアクション リサーチ計画の実行①	地域訪問や体験活動、データ収集活動に取り組む。 インタビュー・アンケート実施 と結果の速報を共有する。		
	調査活動の実施とデータ収集①	各グループで調査活動を実施する。 - データ収集と仮説検証の進捗を確認する。 - リサーチ後のデータ整理、初期段階の分析をする。		
	発表スキル向上とフィードバック収集	地域訪問や体験活動、データ収集活動に取り組む。 インタビュー・アンケート実施と結果の速報を共有する。		
発表準備	中間発表準備と発表内容確認①	中間発表に向けて発表資料を整える。 - 進捗状況と問題点を整理し、発表内容の最終確認をする。		
	中間発表準備と発表内容確認②	中間発表に向けて発表資料を整える。 - 進捗状況と問題点を整理し、発表内容の最終確認をする。		
解決のためのアクション	中間発表後の振り返りと調査方法の改善	中間発表を踏まえて調査方法やリサーチクエスチョンを再確認する。 - 反省点を共有し、改善策の検討を進める。 - フィードバックをもとに調査方法を改善する。		
	課題設定と探究目標の再調整	- フィードバック内容をもとに、調査内容や方法を再検討する。 - 新たな課題を見出し、探究目標を再設定する。 - 外部評価者の意見を再確認し、活動の方向性を修正する。		
	改善案の検討と計画立案	- 改善案をいくつか立案し、効果と実行可能性を評価する。 - 再調査の必要性を判断し、新しい計画を策定する。 - 調査方法の選定(例:アンケート、インタビュー、実験、観察など)。		
	行動計画の再設定	- 探究の方向性を確定し、具体的な行動計画を設定する。 - 必要な準備(資料作成、調査依頼、リサーチの準備など)を行う。		
	新たな調査・探究の実施	- 計画に基づいて調査活動を実施する。 - 仮説検証やデータ収集を行い、成果を改善する。		
	調査の継続と検証	- 調査内容を分析し、仮説の検証結果をまとめる。 - 外部評価で指摘された点の修正を行う。		
まとめ・発表・リフレクション	探究内容の深化と再調査	- 調査結果をもとに、さらに深掘りする部分を検討する。 - 必要に応じて追加調査を実施する。		
	他グループとの相互評価	- 他グループの発表内容を聞き、相互評価を行う。 - 良かった点や改善点をフィードバックし、次に活かす。		
	成果の確認と改良	- 成果物を見直す。 - プレゼン資料のブラッシュアップに取り組む。 - 改善案の最終確認を行う。		
	発表準備とリハーサル	- 発表内容の最終調整を行う。 - 成果物展示方法を決定する。 - 発表リハーサルとフィードバックを受ける。		
	プレゼン技法強化	- 発表スライドチェックをする。 - 表現力向上のためプレゼンスキルを理解する。 - 発表練習とフィードバックを受ける。		
	最終リハーサルとチェック	- 全体リハーサルに取り組む。 - 相互評価とアドバイスを受ける。 - 総括評価と発表調整に取り組む。		
	最終成果報告会	成果発表と評価 - 地域住民や関係者との意見交換 - 次年度に向けて後輩へ引き継ぎ		
	小論文学習	"分野別の小論文学習 第一学習社"		
	小論文学習	小論文学習に取り組む		
	小論文学習	小論文学習に取り組む		